

○被害が深刻化している有害鳥獣対策については、1月に設置した広域獣害対策連絡協議会を通じた取り組みの推進とともに、イノシシの個体数調整を促進します

○老朽化が著しく、早急な耐震化が必要な津市中央公民館、津市社会福祉センターについては、津センターパレスの一部を区分所有する形で整備を進めます



老朽化した津市中央公民館

○経営改革が迫られるポルタひさいについては、あらゆる角度から今後の対策を検討します

○中心市街地活性化に向けては、市民との意見交換を通じた協議の場を設定します

○20年に一度開催される市の無形文化財である



香良洲地域の「お木曳き行事」については、平成25年3月の開催に向け、観光PR事業などを通じた支援を行います

昭和48年4月のお木曳き行事
（「香良洲町史」より）

子育て環境、教育環境の整備

○保育所待機児童の削減を図るため、民間保育所の整備を促進します

○子ども医療費助成については、7月1日から県の制度に先駆け、小学6年生までの子どもを対象とした通院費の助成を開始します

○教育環境の整備については、小・中学校の耐震改修が平成23年度末で完了することから、今後、老朽化した施設の計画的な改修を検討します。平成24



耐震改修の完了した校舎

年度は、11億円程度の予算を確保し、まずは、白塚小学校および神戸小学校、一身田小学校の大規模改修に着手します

○美杉小学校の裏山で発生した段差については、引き続き、三重県に対し早期の工事着工を要望します

○幼保一元化については、保護者のニーズに対応した取り組みが行えるよう、保護者をはじめ、関係者の皆さんとの意見交換会をスタートさせます

平成24年度財政運営

一般会計の規模は約1,002億円

○一般会計の規模は、平成23年度の実質的な予算規模となった平成23年6月補正後の額と比べ、約0.6%減である約1,002億円としました

○津市としての行政課題に的確に対応する予算、公約に掲げた政策課題の実現に向けた予算、将来にわたる健全な財政運営を踏まえた予算という視点で編成しました

【編成のポイント】

●人件費、公債費は前年度に比べ減額となる一方で、防災対策や4大プロジェクトの推進など必要な事業へ重点配分する「メリハリを付けた予算」とし、投資的経費については、前年度比2.3%増の約106億円を確保

●平成23年度末の市債の借入残高は臨時財政対策債を除き約539億円で、平成22年度末と比較して約53億円の減少

●新規の起債については、合併特例債など有利な起債を活用

●財政調整基金については、平成23年度末の残高が約149億円で、平成22年度末と同様の高水準を維持

行財政改革の取り組み

定員管理の適正化

○津市行財政改革大綱に位置付けられた正規職員2,500人体制の早期実現を効率化された津市役所としてのスタートと捉え、市民の意向を踏まえた政策実現ができるよう、限られた人的資源を最大限に活用していきます

職員の意識改革、組織風土改革

○情報共有の徹底、信頼関係を基盤としたコミュニケーションの充実、サービス規律の確保と法令遵守の徹底などに取り組みます